

載許諾条件文例一覧(2021-2022度申請実績より)

転載元機関名	提示された条件の要点	文例番号	提示条件の代表的な文例	記載元	備考
ANS	(1)出典明記 (2)著者の同意 (同意得られない場合は備考参照)	1	1. 著者の同意を得る。 2. 著者への事前の抜粋の提出する。 3. 引用出版物の名前、巻、ページ、号を含む、著者とANSへの適切なクレジットを記載する。 4. 以下の著作権を記載する。 Copyright(2007) by the American nuclear Society, La Grange Park, Illinois.	A	「誠意を持って努力した結果、著者に連絡できなかった旨」はANSの了承を確認済
	(1)参考文献扱い (表数値より独自に作成場合)	2	Table1のデータより独自のグラフ作成のため、著作物の利用に当たらず、参考文献として記載。 "Sandoz, S. A., Chen, S. F., Vermont Yankee Stability Tests During Cycle 8, American Nuclear Society winter meeting, San Francisco, CA (USA), 30 Oct - 4 Nov, 1983."	B	
ASTM International	(1)出典明記	1	以下を明記のこと。 Reprinted, with permission, from [書誌事項], copyright ASTM International, 100 Barr Harbor Drive, West Conshohocken, PA 19428.	A	
Elsevier B. V.	(1)出典明記 (2)著作権のクレジットの記載	2	以下を脚注または巻末の参考文献リストに明記のこと。 "Reprinted from Materials Science and Engineering: A., 528:5336-5340., Singh, B. K., Singh, V., Effect of fast neutron irradiation on tensile properties of AISI 304 stainless steel and alloy Ti-6Al-4V., Copyright(2011), with permission from Elsevier."	A	
ERC出版	(1)出典明記	1	出典明記のこと。	C	
IAEA	(1)出典明記 (2)翻訳に関する免責事項	1	以下を明記の上、脚注に免責事項を記載。 "International Atomic Energy Agency, Assessment of Defence in Depth for Nuclear Power Plants, Safety Reports Series No. 46", IAEA, Vienna, (2005). 脚注：これは、「Assessment of Defence in Depth for Nuclear Power Plants, Safety Reports Series No.46」©IAEA 2005のFigure 35からの翻訳です。この翻訳は、日本原子力学会によるものです。この資料のオリジナルは、IAEAによって、またはIAEAに代わって正当に権限を与えられた人によって配布された英語版です。IAEAは、この翻訳及びその出版物の正確性、品質、信頼性、または仕上がりについて保証を行わず、責任を負わず、この翻訳の使用から直接的または間接的に生じた結果的またはその他の損失または損害について責任を負いません。	D	
	(1)出典 (URL) 明記	2	出典 (URL) 明記のこと。	E	
	(1)出典明記 (2)翻訳に関する免責事項を日本語で記載	3	出典および翻訳に関する免責事項 (下記の英文面) を日本語で記載ください。 If you translate the material, we kindly ask you to include the following disclaimer as a footnote (black text in Japanese language) : This is a translation of extracts taken from page 104, from "IAEA Safety Glossary: 2018 Edition, © IAEA 2019". This translation has been prepared by the Atomic Energy Society of Japan. The authentic version of this material is the English language version distributed by the IAEA or on behalf of the IAEA by duly authorized persons. The IAEA makes no warranty and assumes no responsibility for the accuracy or quality or authenticity or workmanship of this translation and its publication and accepts no liability for any loss or damage, consequential or otherwise, arising directly or indirectly from the use of this translation."	C	
International Association for Wind Engineering	(1)出典記載 (2)記載する著作権名指定	1	1. 適切に出典を記載すること。 2. 著作権をAmerican Association for Wind Engineeringと記載すること。	F	
National Technical Information Service	(1)出典明記	1	公有のため、許諾申請は不要。 出典明記のこと。	A	
University in Prague	(1)出典明記	1	出典明記のこと。	G	
U.S.NC STATE University Libraries	(1)出典明記	1	出典明記のこと。	G	

【記載元】

標準名

- A AESJ-SC-F002：2021使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：2021
- B AESJ-SC-P007：2021 BWRの核熱水力安定性評価基準: 2021
- C AESJ-SC-A002：2022 発電用原子炉施設等の廃止措置計画策定基準：2022
- D AESJ-SC-TR009-1：発電軽水型原子炉の炉心及び燃料の安全設計に関する報告書：2021
- E AESJ-SC-A002：2022 発電用原子炉施設等の廃止措置計画策定基準：2022
- F AESJ-SC-A004：2022 発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準
- G AESJ-SC-RK012：2022 原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2PRA）

転載許諾条件文例集

2023年6月

本資料は、発行済み、又は発行予定の標準対し転載元機関より提示された代表的転載許諾条件の「要点」と「その文例」をまとめて示したものである。

纏めるにあたっての留意点は下記である。

1)	2021年～2022年度に転載許諾申請を行い、許諾された学会標準を対象としている。
2)	海外の機関を転載許諾元（転載許諾申請先）からの転載許諾条件を対象としている。
3)	「提示条件の代表的な文例」は、転載元機関の記載文、又はその趣旨の和訳文を示した。
4)	転載許諾では、「出典明記」が一般原則であり、本学会の「標準作成ガイドライン」においても、その旨記載されている。本資料では、転載元より提示されている場合は、改めて表記した。
5)	表中「記載元」欄の表記インデックスは、左記の条件文例が示された学会標準を示す。当該標準名は、上記リストに記載した。